



とうえい

令和6年2月14日
東栄小学校
学校だより第10号

心を込めた『そうじ』！

先日、あるテレビ番組で東京ディズニーランドで働く人たちの仕事について放送していました。そのディズニーランドがお客様に夢と感動をプレゼントするために一番力を入れている仕事は何でしょうか？それは「カスタディアル」と呼ばれているそうじをする仕事です。「ディズニーランドにはごみが落ちていない」というのは有名な話ですが、「赤ちゃんがハイハイしても大丈夫なように」を合い言葉にして、每晚遅くまでそうじをしたり、特にトイレはピカピカにしたりして、責任とやり甲斐をもって取り組んでいます。



さて、そうじの時間帯は給食と昼放課の間にあり、子どもの頃の自分だったら、1日の日程の中にあるからという理由で何となくそうじをして、ちょっと手を抜いていた記憶がありますが、本校の子どもたちはそうではありません。ディズニーランドのカスタディアルに負けないくらい本気でそうじに取り組んでいます。担当箇所のすみからすみまでほうきで掃いたり、丁寧にぞうきんがけをしたりしています。また、床や壁のよごれを拭き取ったり、トイレや手洗い場もピカピカになるまでゴシゴシと磨いたりしています。毎日、生き生きとした表情でそうじをしている子どもたちの姿を見て、感動しています。

もう13年前になりますが、紅白歌合戦に出場した植村花菜さんの歌『トイレの神様』が話題となりました。その歌詞の中に ～ ♪トイレには それはそれはキレイな女神様がいるんやで だから 毎日キレイにしたら女神様みたいにべっぴんさんになれるんやで♪ ～ という箇所があります。もちろん、べっぴんさんですから容姿端麗なところも含んでいるのですが、ここでは「心の美人」を指しているものと思います。ある雑誌の中で「トイレはその家の心と言われるように、一番汚れる場所のそうじが行き届いていれば、玄関や階段などもピカピカに違いないと思わせます」という文を目にしました。心を込めてそうじをすることは素晴らしいことです。ごみ一つ落ちていない床、ほこりのない壁や机、ピカピカのトイレや手洗い場、きちんと整頓された机の中やロッカー、もちろんそうじ道具入れも、みんなで使う場所や物を美しく保ち、夢と感動でいっぱい東栄小学校にしていきたいと思います。

～ちょっといい話 その9～



令和6年度前期児童会役員選挙におけるポスター作りやクラス演説回り、立会演説会を見て、話の内容や行動力に感動しました。保護者や地域の人たちに見ていただきたかった。東栄小学校の子どもたちを・・・。

(校長 井田 寿)